

ふるさとの文化財を知っていますか？

11月1日～7日は文化財保護強調週間

11月1日から7日は「文化財保護強調週間」です。これに伴い、八代市の代表的な文化財を紹介するパネル展示を行います。

現在市には、国指定9件、県指定29件、市指定200件、計238件もの文化財があります。文化財には、社寺などの建造物、仏像や絵画などの有形のものや、遺跡、芸能、伝統行事や祭りなど、様々なものがあります。この機会に、八代にどんな文化財があるか、ぜひご覧ください。

場所・期間 ▼やつしろハーモニーホール・・・10月31日(土)～11月2日(月)午後4時まで ▼八代市役所本庁舎1階ロビー・・・11月4日(水)～9日(月)午後4時まで

内容 ①縄文・弥生・古墳時代編 ②飛鳥・奈良・平安時代編 ③南北朝・室町・安土桃山時代編 ④江戸時代編 ⑤千拓・石橋編 ⑥八代妙見祭編

※文化財パネルのデータは、市ホームページ (<http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>) からダウンロードすることができます。「文化財パネル」で検索してください。

問合せ 文化課 ☎35-2021



▲八代を代表する文化財の解説と地図が掲載されたパンフレットです。

※文化課でご希望の人に配布しています。



▲大門薬師堂の鰐口



▲大門観音堂の鰐口

県内最古の鰐口 大門観音堂・大門薬師堂の鰐口 (坂本町葉木)

県指定重要文化財

平成21年6月23日指定

鰐口は、神社の社殿やお堂などに掛けられる金属製の音響具で、鰐の口のように広く開いた形をしています。

観音堂と薬師堂の鰐口は、どちらも600年以上前の南北朝時代の作で、500年前の戦国時代に相良氏の勢力によって大門地区にもたらされたものとみられます。観音堂の鰐口(正平18年・1363)は県内で最古、薬師堂の鰐口(永徳元年・1381)は4番目に古い貴重なものです。



国登録有形文化財
平成21年4月28日登録
日奈久温泉街で最も大規模な木造3階建旅館です。通りに面した本館は、明治42年に建築され、大正3年に増築されたものです。大きな窓とガラス戸で、開放的で美しい外観をなしています。また、本館奥に続く2階建の大広間棟(昭和13年)、正門および塀も併せて登録されました。

県内最大規模の木造3階建て旅館
旅館 金波楼本館 (日奈久上西町)

最近登録・指定された文化財



▲文化財愛護のシンボルマーク

広 告